

スカウト活動の実施についての長野県連盟活動指針（7）

2020/10/20

日本ボーイスカウト長野県連盟

理事長 出田 行徳

県連盟コミッショナー 小岩井 由道

先般、加盟員の皆様へ新型コロナウイルス拡大防止対策による長野県連盟活動指針（6）発信しました。状況は長野県内では感染警戒レベルが1に下がり、地域においては感染経路不明の状況があるものの、学校の活動状況はかなり動いております。今後、季節性インフルエンザの流行の備えも考慮される事や新しい生活様式も浸透してきていると推察します。そのため11月以降は一部変更します。この指針に沿ってスカウト活動を進めてください。なお、状況の変化により指針の変更も考えられますので、気持ちを緩めず今まで通り最新の指針に従って、安全な活動を実施願います。最新の長野県からの情報もご確認下さい。

◎長野県内の基準	レベル1	対策を実施しての活動OK。
	レベル2	対策を実施しての活動は注意して実施。
	レベル3	基本的には活動自粛
	レベル4以上	活動休止

【基本】

「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン2020.7.10 ver02」によるレベル1（地域の学校の判断に準ずる）と解釈し、ガイドラインに示されている内容に留意して活動を実施する。

なお、地域の学校がCOVID-19による休校や部活動などの実施不可の処置がとられた場合、スカウト対象の活動は自粛する。

1) 隊集会について

「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン2020.7.10 ver02」の内容を満足させて、実施することができる。

2) スカウト活動における旅行について

「スカウト活動の実施に対する長野県連盟方針第2報 2020年6月23日」に従って実施することができる。ただし、長野県の方針同様に、COVID-19感染者の多い地域への旅行は自粛願います。他県連の最新の活動指針については、県連事務局までお問い合わせください。

3) 舎営について

「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン2020.7.10 ver02」の内容を満足させて、実施することができる。

但し、事前（最低実施5日以前）に県連に**対策を明記した計画書**をご提出ください。

<施設における宿泊のリスク対応>

- ・ 収容員数により制限されていることを踏まえ、施設の指示に従う。
- ・ 施設の収容人数に従い密にならない環境を整える。
- ・ ベッド（2段）の場合：上の段と下の段とは頭の位置を逆向きにする。
- ・ 横並び（ベッド・布団）の場合：頭の位置を隣とは逆向きにする。
- ・ 縦並び（ベッド・布団）の場合：足を向かい合わせにする。

<食事でのリスク対応>

- ・ 食事の準備の際、石鹼による手洗いを行なっていればゴム手袋を使用する必要はない。
- ・ 炊具等は小まめな洗浄、食器専用アルコールの使用を推奨します。
- ・ 消毒用アルコールを常時備える事。
- ・ 食事する際：対面を避ける工夫や着座位置の間隔をとる。
- ・ 料理を大皿でシェアしないで小皿に分ける事。
- ・ 料理を鍋から取り分ける際は指定した者が行うなど、セルフでの個別対応は避ける。
おかわりの時も同様でセルフは避ける。

<入浴時のリスク対応>

- ・ 基本的に施設のルールに従うこと。
- ・ 時間をずらした入浴スケジュールを作成し、一度に使用する人数を制限する。

4) 野営について

「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン2020.7.10 ver02」の内容を満足させて、実施することができる。

但し、事前（最低実施5日以前）に県連に**対策を明記した計画書**をご提出ください。

<テント泊のリスク対応>

- ・ ソロキャンプや、個人テントが確保でき、活動も3密を避ける対応ができている事。
- ・ 既存テントで対応する場合：1名利用が適切であるが、大型テントであれば人数を制限し、換気を考慮し、就寝位置は互いの頭の位置が逆方向になるようにする。
互いの間に間仕切り（簡易シート、パーティションなど）を配置する工夫をする。
- ・ 23WSJでの指導者用テントは互いのスペースが確保できるのでソロテントとみなすことが出来ます。

<食事でのリスク対応>

- ・ 舎営と同様の基準とします。

<入浴時のリスク対応>

- ・ 舎営と同様の基準とします。

.....

この活動指針は **2021/3/31まで継続**します。但し県内、各地域の状況、日本連盟の方針により変更もある事とします。

以上